

破天荒

教宣部

5081号

2020年
3月23日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合



2020年 春闘 コロナウイルスの影響で 会社運営見通せない

先日、春闘二回目の団体交渉を行いました。新型コロナウイルスの影響で会社運営さえ見通せないそうです。

確定給付企業年金

従業員に確定給付企業年金規約を改訂する旨の回覧がありました。従業員代表には「規約の変更に同意します」という同意書に署名捺印をお願いがありました。従業員にとっては退職金の保全がよりなされ、年金も一時金も減ることはないで規約を変更するという説明文でした。変な対応だなと思ったのは規約の何条をどのように変更するかも示さず署名の

同意を求められたことで

賃上げ

従業員の月々の賃金(生

各支部 団交時の会社主張と組合主張

【会社主張】

賃上げの重要性は理解できる。消費税は限定的であり、確実に生活実態が下がったとはいえない。世間的な追い風は感じない。一律的なべアに理解を示すことは難しい。生活水準は定昇で保たれている。先行きが不透明な状況の中で現在できる精一杯の回答。大手の回答も前年より厳しい。売上は減っているが利益は増えている。今後の新

活)という面で18年前と比較して同年齢であれば増税などで目減りしているのは理解しているとしながらも賃上げできないのかの具体的な数字の説明はありませんでした。

コロナウイルス

営業では会社訪問ができない、展示会に参加しても

客が来ないなど影響は確かにあり、日々変わる報道で先が見えない状態だそうです。

社長への要請

要求書は三社の社長に対して提出しています。団交メンバーではあるべき論の本質が分かりにくく何を考へておられるかを見失いそうになるので次回団交は三社社長に出席していただければよう要請しました。

逆転人生

(あるロボット開発)

何気なしに見ていた番組に分身ロボット「オリヒメ」の開発者・吉藤さんを紹介するものがありました。オリヒメは手のひらに乗る小型のもので、カメラ・マイク・スピーカーが搭載されネット環境で操作します。

・入院や身体障害などで通学できない児童がオリヒメで「友だちと一緒に」授業を受ける。

・育児や介護、入院や身体障害など通勤が困難な人がオリヒメでテレワークを行う。

など、遠隔操作でありながら「その場にいる」という感覚で双方向に共有できることを特徴としています。

どうしてその開発をしたのかは、吉藤さん自身が引きこもりの経験をされ、人と人のコミュニケーションが大切であることに気が付かれ、それを支援することが心の原点にあるからです。

陰から陽への発想の転換、優れた開発能力に感心の連続でした。

型コロナウイルスの影響で先が見通せないよって全員賃下げ。べアについては、将来の賃金を保障しないといけないため、利益が出ていくからべアを出すという考え方ではない。現在の賃金に対して水準が低いとは思っていない。

【組合主張】

諸要求に対して前向きな回答があったが、べアは満足する回答ではない。会社状況は理解するが、上積みを求める。